

民間活力を引き出す市政を！



国分寺政策市民フォーラム 丸山 哲平

公共施設の複合化、多機能化について

丸山) 今後公共施設・インフラは維持・更新費が急増、最大約72億円/年かかるとの報告がある。これに対しては単なる改修でなく、マンションと組み合わせる等してサービスを維持・向上させながら税の持ち出しを極力減らす取り組みが必須。本多公民館等がモデルケースとなり得ると考えるが検討を進めてはどうか。都市開発部長) 民間ノウハウを入れることが可能な地域と考える。研究して参りたい。

企業誘致について

丸山) 企業誘致について現在当市ではどのような考え方をもち、取り組んでいるのか。市民生活部長) 具体的な取り組みはない。丸山) それは問題。用地等の制約から、いわゆる工業団地の新規設置は難しい面がある。だが創業支援で既に取り組んでいるように融資あっせん・減免措置等で誘致促進を図ることは出来るはず。他自治体は企業誘致のため税の控除や相当額の助成等の施策を打っている。出来ない理由ではなく、出来ることを考えるべきである。

企業の社会貢献活動(CSR)との連動について

丸山) 当市では税外収入を増やすため、ふるさと納税等推進しているが、これに加え企業の社会貢献活動との連動を推進すべき。民間のノウハウ・資金を活用し市民サービスの向上と税の持ち出しを減らすことを図るべきだ。

政策部長) 指摘を受け、全庁的に検討したい。

市報について

丸山) 現在月2回、市報が発行されているが、複数年に渡り大きな影響をもたらす事項、例えばマイナンバー制度のように内容が重要かつ複雑なものは市民のご理解を深めて頂くため、別冊・特集号といった形態で周知すべきである。政策部長) マイナンバー制度については、国からの通達遅れ等の影響で、その場しのぎの形になった部分があった。指摘を踏まえ、特集号や他媒体に入れ込む等の研究・検討を進めたい。

その他) 児童虐待問題、18歳選挙権に関する取り組みについて質問を行った。

認知症、有期雇用課題を市に問う



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう

◆ご本人と介護者が主役の認知症対策を

星) 認知症の介護をされている高齢者世帯の声を聞きした。お連れ合いが夜中にいなくなってしまうなど、徘徊で困っていらっしゃる。「行方がわからなくなった場合、市内随所にあるスピーカー(防災行政無線)で本人の特徴などを流してもらうことはできないだろうか」との要望をいただいた→答弁) 防災行政無線の活用は難しいが、市の「生活安全・安心メール」(登録者: 1万5,200人)で行方不明者に関する情報提供をできるかどうかを早急に検討していきたい。星) お話を伺った方は「認知症になったことを誰よりも本人が不安に感じている」とお連れ合いに寄り添って介護されているが、24時

間介護のなかで疲れきってもいらっしゃる。介護者の本音を交流できる場として「認知症カフェ」を切望されている。ぜひ、開設をしていただきたい→答弁) 今年度中に試行として2箇所で開設していき、来年度の本格実施を目指していく。星) たとえ認知症になっても人生の主人公はご本人。比較的若くして患ったとしても、自分の存在を活かしていくための「働く場」としての認知症カフェの必要性を訴える声もお聞きした。市は開設にあたり、どういった内容を考えているのか→答弁) 認知症の人とその家族が、地域の人々や専門家と情報を共有し、お互いを理解し合う場を目指していきたい。

◆市の有期雇用職員について

星) 市の職員の3分の1を嘱託職員が占めている。嘱託職員は、1年契約で4回までの更新とされており、雇用期間に制限がある。市の職員として5年間の業務経験がある人たちのことから、働き続けられる条件を確保することが、市民サービスの向上につながるのではないかと答弁) 5年経過後は、嘱託職員採用試験を受け直してもらっているが、優秀な嘱託職員が多いことも確かなので、ある程度の年数を経験された人を正規職員として採用するといった抜本的な改善を現在検討している。

※その他「障害者施策」「空き家対策」を質問

出生率、都市マス、成績評価、特別支援学級



国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子

1. 前回質問した西国分寺駅東口の確認(略)

2. 西国分寺駅北口について

○現状は? →今年度基礎調査とアンケート調査をおこなっている。○今後の予定は? →基礎調査を踏まえて将来のまちづくり計画をつくっていく。○多くの人の意見を聞いていていいにやって使い勝手のいい駅前にしていきたい。

3. まち・ひと・しごと創生総合戦略について

○出生率が1.21で多摩26市中20位と低いとどう考えているか? →人口密度が高いほど出生率は低くなる。○数値目標が1.33なのはなぜか? 国の希望出生率1.80、東京都1.76とくらべて低いのではないかと隣接自治体の平均数値1.33を目指すことにした。○目標にしては低すぎる。努力する過程が必要で発想を転換してほしい。

○25才から39才のファミリー層の転出増加はどう分析しているか? →市は利便性がよいが家庭をもつと地価が高く他へ移っていくと考える。

○民設民営保育所の整備計画は順調か? →来年度173名、29年183名を確保した。500名の計画に144名不足しているが国が目標数値をひき上げたので計画の見直しも必要だと思っている。

4. 都市計画マスタープランについて

○まちづくりのテーマ「活気ある暮らしやすいまちこくぶんじ」が余りにも平凡だ。公募して市民から広く意見を聞いたらいかがか? →これまでの意見で活気、または暮らしやすいが多い。○バリアフリーとユニバーサルデザインについて概要に載っていないのはなぜか? →概要なので書ききれなかった。

5. 中学校の成績評価について

○他の市に比べて評価が厳しいという意見が多いがどう考えるか? →特段甘いとか辛いということはない。評価は適正に行われている。本市の特徴としては2や1が少ない。○観点別評価表がわかりにくい。あらゆる場面で説明して。

6. 特別支援学級について

○インクルーシブ教育をすすめてほしい。通級制度の改正は? →30年から実施する。巡回する教員以外に支援員が常駐するメリットも多い。

近隣他市との広域連携で地域医療の充実を！



公明党 高橋 りょう子

1) 「国分寺市健康増進計画」の具体的着手を

長野県では医師会・行政・市民ボランティア・農業団体・飲食業等々が協力しAクション: 運動、Cェック: 健診、E-ート: 食、の頭文字「ACEプロジェクト」と銘打ち具体的に取り組み好評と。本市健康施策の着実な推進を。市) 地域福祉計画の一環として参考に取り組む。

2) 市外医療機関でのワクチン接種拡大を

①国民の死因第3位の肺炎。高齢者は風邪等から重篤になりやすく肺炎球菌ワクチンが効果的。かかりつけ医等が市外の場合でも接種可能に。市) 今年に入り小平・国立市と連携が始まり残る三市とも広域連携に向けた協議を進めていく。

②里帰りや入院等の乳幼児は止むを得ず市外医療機関で受診せざるを得ない場合もあり検討を。市) 確実な接種が最優先。差額費用や事故時の対応など慎重に検討し接種漏れ防止に努めたい。

3) 未就学児の保護者支援について

育児疲れや悩みを抱える母親・保護者に対し、研修を受けた先輩ママが支え寄り添う「ホームスタート事業」のとり組みが有効と聞く検討を。市) 行政の専門職だけで育児不安などの軽減を図る事は困難。他市の事例も参考に検討したい。

4) 路面劣化による振動対策など道路整備を

稲荷坂から高木バス通りは住民の日常生活に深刻な影響があり速やかに対応を。又ひかり保育園接道のセットバック延長、稲荷神社交差点バス駐停車スペースの確保も合わせ早急に着手を。市) 優先度が高い事は認識している。28年度から、設計・工事へと順次対応する計画である。

5) 武蔵国分寺種古代米「赤米」の広報展開を関係・協力者の長年のご努力により7キロ収穫。本市の特色ある教育活動としても推進・展開を。市) 一農家で試験的に栽培し成功した。今後は広く紹介し普及、特産化に向けて拡大したい。

6) 東京防災ブック、学校防災ノートの活用を全戸配布教材活かし市民防災推進に周知努力を。市) 学校では訓練と合わせ活用する。市民には消防署と連携し出前講座等で浸透に取り組む。その他) 空き家対策、ジェネリック推進等質問。

閉会中の委員会等

委員会ほどなたでも傍聴できます

第4回定例会終了後、平成28年第1回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

- 1月18日(月) 総務委員会
- 1月19日(火) 議会運営委員会
- 1月20日(水) 厚生委員会
- 1月22日(金) 国分寺駅周辺整備特別委員会
- 1月29日(金) 建設環境委員会
- 2月8日(月) 文教子ども委員会

市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。

※2月8日の文教子ども委員会は午後1時から開催します。